

REAL4のデータを最適取合システムへ連動したい！①

REAL4で連動データを作成することで連動が可能になります。

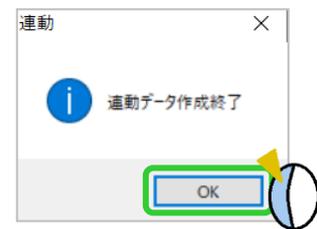
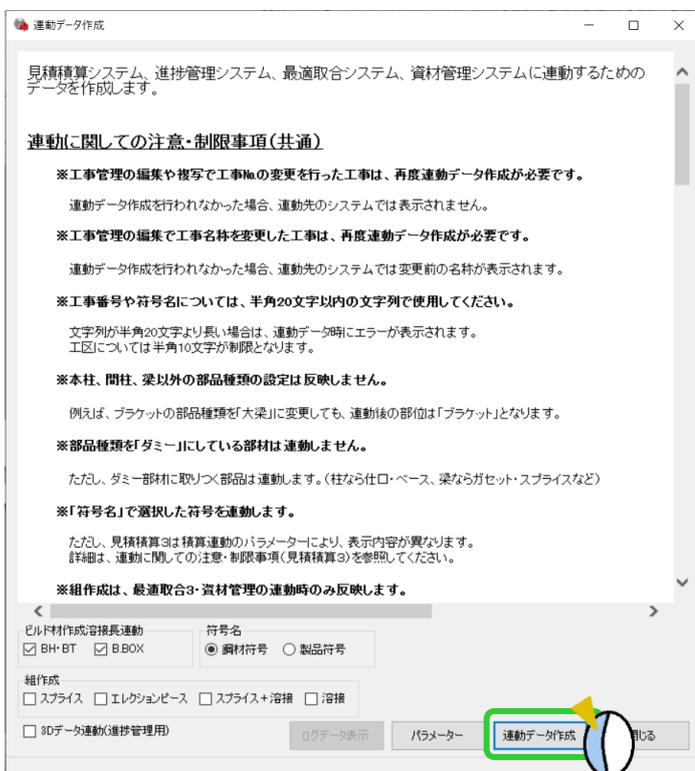
REAL4で【出力】 - 【連動】をクリックします。



連動データ作成画面が表示され、連動に関する注意事項が表示されます。

内容をご確認いただき、【連動データ作成】をクリックします。

連動データ作成が終了したら【OK】をクリックします。REAL4での作業は以上になります。



【組作成】のsprays等にチェック☑を入れ連動データ作成を行うと、溶接やspraysで取合う部材を同じ定尺材から取うことができます。

組作成
 sprays エレクションベース sprays+溶接 溶接

sprays+溶接はフランジ溶接継手、溶接は板継手になります。

部材のID番号が違う部材は組作成しません。

※最適取合2は未対応です。

※事前に最適取合3【パラメーター】 - 【2.詳細】 - 5) 組を【0-有り】に変更してください。

最適取合3を起動します。

【連動】 - 【REAL4】をクリックします。

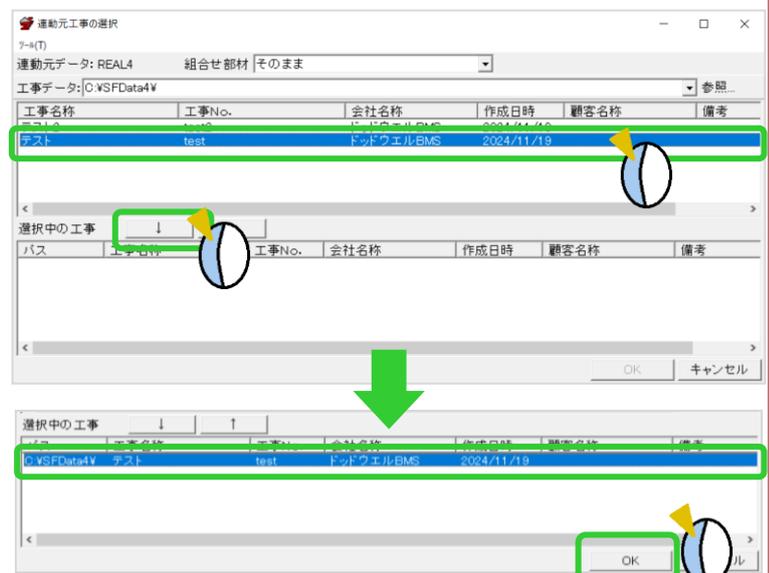


連動元工事の選択画面が表示されます。

連動する工事データを選択し、↓をクリックします。

選択中の工事に選択した工事が移動するため、

【OK】をクリックします。



REAL4のデータを最適取合システムへ連動したい！②

REAL4 で連動データを作成することで連動が可能になります。

取合連動画面が表示されます。

- ① 工区や節、区分や材種などで連動したいデータのみチェック☑を入れます。
- ② 【切材ファイル名】を入力します。
- ③ 開始をクリックすると連動処理確認画面が表示されるので、はい(Y)をクリックします。

処理が終わると【入力】 - 【切材入力】に REAL4 から連動したデータが反映されます。



切材ファイルは、各工事データフォルダの input-Ch3Data に【切材ファイル名.ChB】と保存されます。
 例) 切材ファイル名：test → test.ChB

取合連動時に【切材入力】の符号欄、用途欄に連動する項目を選択できます。
 【設定】→用途とした場合、右隣の設定より複数組み合わせた名称を連動することができます。

No.	取合	取合履歴名	組	符号	用途	材種	材種名	部材	材質	材質名	長さ(mm)	本数	残数	重量(kg)	左端(mm)	右端(mm)
1	未			2B3-1	小梁1	2	H	H-150x75x5x7	1	SS400	955.0	1	1	13.37	0.0	0.0
2	未			2B3-2	小梁1	2	H	H-150x75x5x7	1	SS400	955.0	1	1	13.37	0.0	0.0
3	未			2B3-3	小梁1	2	H	H-150x75x5x7	1	SS400	955.0	1	1	13.37	0.0	0.0